

学校統合・再編 保護者説明会 議事要旨

①通学方法等について		
No.	質問内容	回答内容
1	現状スクールバス1台で運行しているが、統合後、授業時間に間に合わないといったことは無いのか。運行本数を増やす対応を検討しているのか。	保護者、児童に負担をかけないように、運行本数の増加、あるいは路線バスの活用になるのか、またはスクールバスの借上げを行うかは、今後協議を行う。いずれ不都合がないように、台数の増加や運行ルートの見直しなどを検討していく。
2	スクールバスの運行にあたり、 ①例えば、朝固定の場所に児童を集合させ、その地点からスクールバスを出発させるようなことはあるのか。 ②利用対象者の範囲や利用料について。	①自宅から一番近いバス停など、安全に乗降できる場所から学校までという考えでスクールバスを運行しているため、保護者の方が集合場所に送ってスクールバスに乗るという状況は想定していない。自宅から一番近いバス停での乗降になると思われる。 ②現在、自宅から学校までのバスの運行ルートで、距離が4キロ以上の場合は無料で利用してもらっている。4キロ未満の児童については、通学費を負担いただければ利用可能である。バスの運行ルートについては、年間を通して安全に運行できるルートを検討していく。
3	現在スクールバスを利用しており、さらに通学距離が長くなることで登校時間が早まるのではないかと心配しているが、どう考えているのか。	学校の始業時間をおある程度遅らせ、なるべく児童と保護者が朝に大変な思いをせず、児童の学校生活の1日に大きな支障がない範囲で、登校時間が大幅に早まることのないよう可能な限り調整していく。
4	出勤時間の都合上、午前7時半またはそれよりも早い時間に学校へ送りたい。統合後も現在同様、午前7時半ごろに校内に入れるようになるのか。	教職員の勤務開始時間は8時過ぎだが、大館市では学校裁量により7時半ごろ(学校によっては7時ごろ)からの開門している。保護者の通勤都合の実情に合わせて、安全対策に十分配慮し、始業時間まで校内で安心して過ごせる体制を整えたい。
5	釈迦内小に統合後、使用するバスについて北陽中学校と共有するようなことはあるのか。小学校低学年の子と中学生がバスに同乗する状況はあまり好ましくないが。	バスの利用台数やルート等はまだ未定であるので、計画段階で配慮事項としていただいた意見をもとに検討していく。
6	統合先の釈迦内小学校の通学路について、釈迦内公民館に児童を降ろして、歩いて学校へ向かっているが、歩道と車道の境目が無く、狭く危険なため、 ①整備の予定はあるのか。 ②クマ対策の対応状況は。	①現在整備計画はない。現状、保護者の送迎の車が釈迦内小の前の通りに集中することを避けるため、開けた釈迦内公民館の前を乗降場所にしている。今後、通学バス(スクールバス及び路線バス)を利用して通学することになる際には、使用するバスの大きさにもよるが、通学ルートの検討にあたり、道路の状況やどこで乗降するのか、今後確認を行い検討していく。 ②朝は車の台数が集中するため、上記のような対応をしている。帰りは、学年・スポ少等別で車が分散されているため、学校前まで迎えに来てもらっている。統合後の人数は現在の釈迦内小とほぼ変わらないため、今の対応と変わらずにできる見込み。
7	釈迦内小の駐車場が狭いため、今後広げる予定はあるか。	今のところ予定はない。
8	比内学区のスクールバス運行について ①今後の対応状況はどうなるのか、また、 ②大葛までのスクールバスは下校時に3本出ているが、統合後も現状の3本を確保してもらえるのか。	①現状2路線の他、比内中学校のスクールバスもあるので、これを利用し統合後も対応可能と考えている。ただ、現在の規定だと、自宅から学校までの距離が4キロ未満だと、月額2,000円かかる。 ②ルートの見直しは必要だが、現在の本数を減らすことはできる限り行わない予定。

9	スクールバスについて、4キロ未満が月額2,000円という制限をなくし東館小学区で差が出ないように対応願いたい。	今後、検討していく。
10	扇田小への送迎方法はどうなるか。	道路を挟んで向かいの空き地を使って送迎場所として活用していくことを検討中。今は駐車場ではないが、駐車場として利用させてもらっている状況。スクールバスの乗降場所も発生するため、それも含めて検討していく予定。
11	西館小学区は八木橋地区と西館地区と広範囲にわたり、クマ出没がある地域なので八木橋・西館地区を運行するバスが必要。下校時も低学年・高学年の時間差に合わせた便数を確保してほしい。	現在、西館小スクールバスは市のスクールバス1台であり、およそ5、6人が毎日利用している。統合再編の際は扇田小までの最も安全安心なバスルートや本数、運行を今後検討していく。 通学路に関しては危険箇所もある程度解消できるように関係機関と協力しながら進めていきたい。 また、これまで同然とはいかないが、不便をきたすことのないよう運行時間、停車箇所、運行台数を今後検討していく。
12	①現在の比内中学校のスクールバスはどのように運行しているのか。中学生なら乗車時間が長くても耐えられるが、小学生は厳しいため乗車時間への配慮が必要である。中学生時代にバスを利用して、八木橋まで利用する同級生がいたが1時間以上乗車していた。 ②八木橋便、弥助・大巻便など各遠方地域への運行便を検討していただきたい。	①比内中学校のスクールバスは基本的に秋北バスに委託して通学バスとして運行している。大谷を出発し、中野を経由して比内中へ行くルート、中谷地を出発し、弥助、大巻、笹館、八木橋などを經由して広範囲に運行するルートがある。 ②小学校と中学校で共用のバスを活用することで別のルート設定も考えられるため現在25人乗りバスからサイズを小さくして、運行本数を増やすなど様々な工夫が可能であるため、検討委員会の中で地域の方々と一緒に考えていきたい。
13	現在田代中学校区のスクールバスの運行経路に入っていない地域も、小学校統合後は経路に含まれるようになるのか。	現在は、中谷地地区、大石渡地区の2路線となっているが、統合後は早口小から山瀬小学校までのスクールバスの運行を検討している。
14	山瀬小学校の校門前の道路が狭く、統合を機に整備していただけないだろうか。	市道の拡幅は困難な部分もあるが、そういった意見も踏まえて検討していきたい。

②放課後児童クラブについて		
No.	質問内容	回答内容
1	①児童クラブに入れなかった児童は学校で待機することは可能か？ ②児童クラブに入っていない児童は鍵を持ち、自分で帰宅しているのか？	①学校待機はできない。クマ対策で一時期保護者が迎えに来るまでの間、学校待機することはあったが、基本的には帰宅か児童クラブかの選択になる。 ②1～3年の児童は待機者が出ないように、優先的に受け入れている。4～6年の児童は利用者が少ない。現在、全学年で待機者はいない。
2	保育園では7時半、要望があれば7時から預けられるが、小学校では7時45分から8時のため仕事を辞めざるを得なくなった保護者もいる。希望者の要望を叶えられる対応策を考えていただきたい。	このような要望があったとして、今後検討していく。
3	現在、矢立小の児童館を利用している児童がそれなりにいると思うが、規模的に対応可能なのか。	現在、「なかよし」が13人、「きらきら」が10人利用している。放課後児童クラブは4～6年生まで受け入れ可能と国で示しており、児童数が減少傾向にあるなかで実際に利用したいと希望する人数を確認しながら今後対応を検討していく。
4	扇田小の学童クラブはどのような体制で運営されているか。 また、統合後どのような形での運営を検討されているか。	社会福祉協議会が比内児童館で運営しており、統合後も現在の場所、これまでの児童館利用者全てに利用いただけるように検討していく。 比内児童館は公民館の裏にあり、学校からの距離は300～400m、歩道が整備されており、放課後、子どもたちのみで歩いて向かっているが、職員が危ない箇所に立ち誘導等を行っている。
5	扇田小の放課後児童クラブは1～6年生まで利用できているか？	現在5年生までの希望者全員が利用している。 4年生以上の児童は部活動や習い事等があり利用率は低いが、6年生まで希望があれば利用できている状況である。
6	現在西館児童館は長期休暇中午前8時から利用でき、出社に間に合っているが、扇田の児童館の開館時間が午前8時だと出社に間に合わないため、利用開始時間を早めていただきたい。	子ども課から配付したアンケート結果より、利用時間が午前8時から午後6時までを望む声が多数だが、午前7時からの利用を希望する方もいることは把握している。 新たに支援員の確保や配置調整も必要となることなど、他の放課後児童クラブを含めた、一律での検討が必要と考えている。
7	田代学区の放課後児童クラブの利用について概要を知りたい。	放課後児童クラブについて、平日は学校終了後午後7時まで利用可能。山瀬小学校では空き教室を利用しているため、学校の中で放課後児童クラブを実施している。土曜日午前8時から午後7時まで対応している。1人当たり月3,150円、2人目以降半額になっている。 申し込みの時期について、10月の就学時健診の際に放課後児童クラブについての連絡をし、12月末までに申し込みしてもらう予定になっている。保護者が就労等で昼間家庭にいないという条件で利用してもらうことになる。

③学籍関係について		
No.	質問内容	回答内容
1	令和11年度より前の年度で新一年生の募集中止はあるのか。	住所要件により学校が決まる。これまでの統合の例からも、募集停止はせず、そのまま入学し、一斉に新学校へ移っている。 最初から統合先の学校に入学したいという保護者もいると考えられるため、そういった方の対応を今後検討していく。
2	①新一年生になるときに、その学区内に人数が何人いるかを開示してもらうことはできるか。同級生の人数によって統合先の学校へ入学するなどの選択の情報としたい。 ②就学時健診後に入学する学校を変えることは可能か。	①現在、公開等はしていないが、公開することも可能。 ②特殊な事情で学校を変える指定校変更という制度があるが、統合によるものや入学校の人数によるという事情を認めるかどうかは定まっていないため、今後検討を行う。
3	統合に向けて、早口小学校の新入生として受け入れが止まることはあるのか。	基本的に住所地の小学校に通うということになっている。過去に学校統合を行ってきた際も、新入生の受け入れの停止はない。 早く統合後の小学校に移りたいという意見も聞かれるが、今までそういった事例はなく、住所地の小学校に入学し統合の際に新しい学校に移るという体制になっている。 統合の時点では、児童が一体感をもって令和11年度に新しい学校をスタートできるよう、児童の心の準備も2年間かけて進めていく。できる準備や手立てはしっかり計画していくので、ご理解いただきたい。
4	現在の早口小学校の複式学級の組み合わせが今後統合までの間にどのように変更になるか、具体的に決まっているのか。	複式学級の人数は国から示されており、1・2年生で複式学級を組む場合は8人以下、2～6年生は16人以下と決まっている。 早口小学校の場合は本来複式学級を3組つくる基準に達しているが、国の制度として教師を1人特別に配置している状況のため、現在複式学級が2組、単式学級が2組の全4学級になっている。 国の制度が今後いつまで継続されるのかは現状不明であるが、学級編成をどのようにするかは、児童の発達段階や学習の組み合わせ等を加味し、校長が決めている。
5	複式学級にデメリットが多い印象を受けるが、単式学級での授業を受けさせたいという希望で、指定校の変更は可能か	統合の理由として複式学級の解消がそのうちの一つとしてあるが、複式学級にもメリットがあり、教師の目線からすると児童一人一人に目配りができ、つまづきにも気づきやすく、丁寧に対応ができる。 学習面においても、単式・複式共に文部科学省の学習指導要領により、各学年で到達すべき水準が示されているため、学習面での遅れの心配はない。 しかし、主に実技教科において2年間かけて学んでいくような工夫を行っている学校もある。そのため、統合の時点で学習状況に遅れがあるということではなく、もしあったとしても統合までの2年間をかけて、責任を持ち解消していく。
6	複式学級がある学校に入学するのか、単式学級だけの学校に入学になるのかによって子供たちの準備の仕方も変わってくる。早い段階で複式学級になるのかならないのか保護者に伝えていただけないか。	各地域の来年度の入学予定者数は把握できるが、実際の入学者数はまだ確定しておらず複式学級になるか単式学級になるかは、未定の状態であり、最終的にはその学校の校長先生の判断となるため学校と教育委員会で情報交換をしながら情報発信・提供をさせていただく。 今現在の各学区の新入学予定者の保護者の方達が、こういった意見や希望があるか何うような方法を今後考えていきたい。

④統合検討について（意見・要望）		
No.	質問内容	回答内容
1	昨年度の新聞発表後、今回の説明会まで期間が空いたため協議の進捗など、早めに共有してほしい。	これから行う説明会にて、寄せられた様々な要望・意見について、ホームページ等で質問事項を集約して結果を公表する予定である。各校へも周知を行い、不安解消に努める。 8月～9月には地域住民説明会を実施予定で、地域の方の声も集約し、丁寧に説明を行っていく。
2	令和11年度の統合を目指し、計画を進めていると思われるが児童生徒数の減少スピードを考慮した際に、中学校区に合わせた統合ではなく別の手法を検討してもよいのではないか。	昨年度の検討委員会での決定事項を今回お知らせしている。来年度、中学校や今回統合を検討している学校以外を対象にした協議を行うための検討委員会を立ち上げ、将来的にどのような学校配置にするか、統合までの過程について検討を行い、方向性を示したい。
3	統合にあたり、未習事項がない状態で統合されるか。	2年間の準備期間があり、統合になった際に子どもに不利益にならないように、学年で身につけないといけなことは身に付けて統合する予定としている。
4	保護者の説明会で意見を聞いてから統合するという話だが、令和11年4月から統合されるのは確実なのか。	現在案の段階であり、保護者説明会で反対がなければ、次は地域の説明会を行い、概ね理解が得られたと判断できれば、令和11年度の統合に向けて動き出す予定。 反対が多ければ、時間を要する可能性もある。
5	統合についての反対が多い少ないはどのように判断するのか。アンケート等の実施予定は。	アンケート等は実施しない予定。現在の教育の状況を見て、より良い環境・学びを目指しての統合のため、100%賛成はないと思うが、統合・再編を進めていく方向で検討している。統合までにできるだけ課題を解決していきたいと考えているため、ご理解をいただきたい。
6	ランドセルは支給になるのか購入しないといけないのか。	新入学児童用のランドセルについて、来年の入学式に間に合うように準備をする予定になっている。 これからランドセルの希望調査も行うため、希望すると回答いただければ確実に準備できる。
7	統合に向けて準備委員会がつくられるという話だが、どのような人達で構成されるのか。	それぞれの学校の保護者の代表や学校の関係者、地域の方にも入ってもらいたいと考えている。教育委員会も入る予定。地域の希望があれば、地域に応じたメンバーでの構成をしていきたい。
8	比内地区の統合にあたっての課題は建物の構造的な問題のみか。早まる可能性はあるか。	建物の構造上の他に、住民の同意が得られるかというところも問題。 8～9月に地域住民説明会を行い、ある程度同意が得られれば、2年程かけて、合同授業・行事等の子どもたちのケアも含めて準備をしていく計画で、早くて3年後の令和11年度の予定。 しかし、複式学級の解消は喫緊の課題のため、建物の改修が必要ないとすれば早まる可能性もあるが、現状では統合時期は早くて令和11年度の予定。 扇田小学校の校舎は他の校舎より改修規模が大きいと見ているため、更に1年遅れる可能性がある。

9	児童の推計より早く児童が減少した場合、東館小だけ早く統合ということもありえるのか。	推計の人数で統合を考えているわけではないので、児童が減少したことで先に統合ということはない。 子どもたちの立場から考えると、統合に向けて2年間かけて3校の合同学習や合同行事を積み重ねていく。子どもたちの意識考えた時に、3校同時の統合が望ましい。
10	扇田地区の学校統合にあたり学校間の合同行事を計画的に行うとあるが、どのくらいの期間を設けているのか教えていただきたい。	令和11年度の統合を目途としており、令和9年度・10年度の2年間で準備期間と考えている。2年間で児童の交流事業や合同行事を計画的に行うほか、150年の歴史がある西館小学校の閉校式などの行事も検討している。 また、準備期間内に委員会と立ち上げ、新しい学校名、校章、校歌の決定や通学路の問題など課題を解決しながら進めていきたい。
11	西館保育園は小学校の廃校と同時に閉園と聞いているが、子どもの人数や状況によっては前倒しになる可能性もあると聞いている。実際、東館保育園も小学校の閉校を待たずに令和9年度に閉園すると通知があった。統合先の改修状況にも影響されると思うが、廃校年度が確定次第、少しでも早くお知らせしていただきたい。	子ども課とも情報共有を行っており、説明会等でそのような説明がされたことは把握している。確定した情報については出来るだけ速やかにお知らせしていく。
12	学校間における交流会、合同行事、合同授業を計画的に行う際、西館小から扇田小までの移動は保護者が送迎というかたちになるのか。	保護者による送迎ではなく、児童は一度通常通り西館小に登校し、その後、学校で手配したバス、スクールバスの転用などで移動する。 行事の終了後は西館小へ戻り、帰りの会や午後の授業を行うかたちをとるため、朝に直接扇田小へ集合するようなことはない。
13	学校行事について、統合後、早口小学校の「徒渡り」行事はどのようになるのか。	令和9～10年度に令和11年度の統合に向けた各地区において学校関係者、保護者、地域の方々と交え、「徒渡り」をはじめとする地域行事の継承など、新しい学校づくりについて話し合いの場を設けたいと考えている。 統合後、早口小学校および山瀬小学校の行事を全て行うことは、授業時数等の関係により折り合いをつけていく必要がある。それぞれの学校で大事にしている行事を統合までの2年間をかけ、整理し、実施方法など検討を行い、統合に備えたい。
14	早口小学校と山瀬小学校の統合にあたり、児童がネガティブなイメージを持っている。統合後の学校名や、校章、校歌などはどのようになるのか。	令和9年度以降、統合準備委員会を立ち上げ学校名や校章のデザイン、校歌について検討を行っていききたい。 校舎は山瀬小学校の校舎を想定しているが、山瀬小学校に吸収されるという訳ではなく、山瀬小学校と早口小学校を一緒にした新しい学校をつくると考えていただければと思う。
15	山瀬小学校と田代中学校が隣接しているため、準備段階で中学校とも合同で何かをおこなう機会を設けていただけないだろうか。	小中が併設している立地条件を有効的に活用し、交流等を準備期間の2年間に限らず継続的に実施できるように教育委員会と学校とで情報共有して進めていきたい。
16	山瀬小学校が統合先になるということだが、（児童が遊ぶ）遊具の更新はあるのか。	新しいものを用意して、安全性を維持するコストも考えるとなかなか厳しいかもしれないが、学校とも協議しながら前向きに検討していきたい。